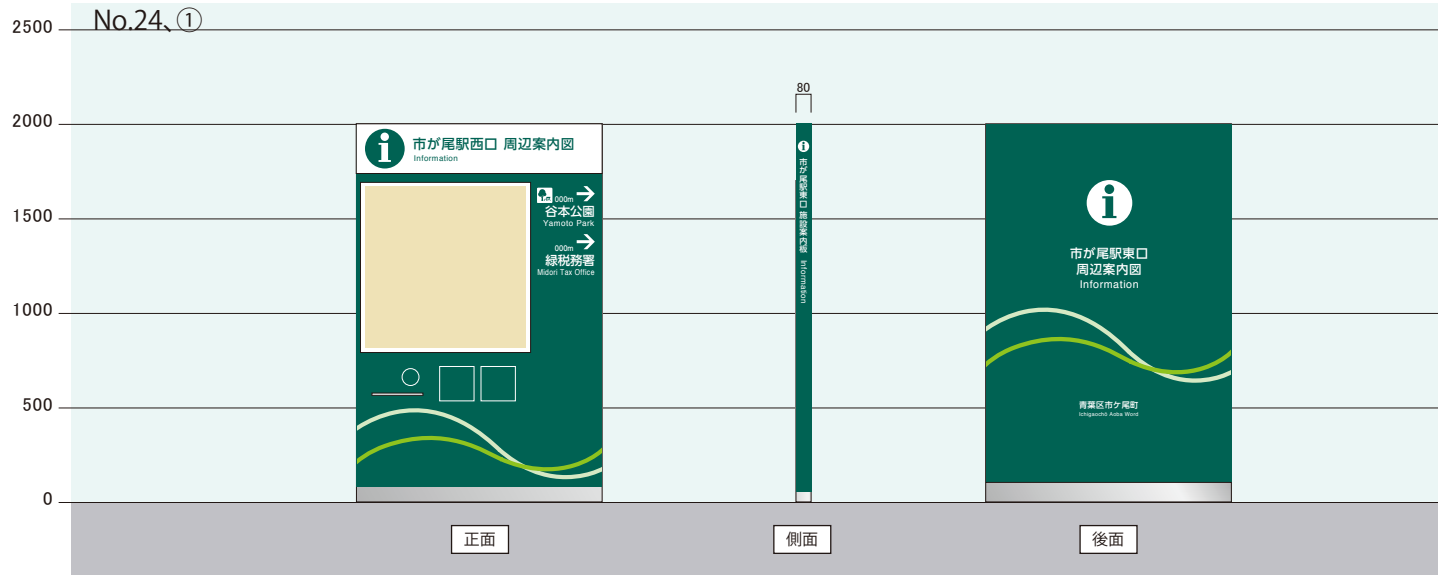
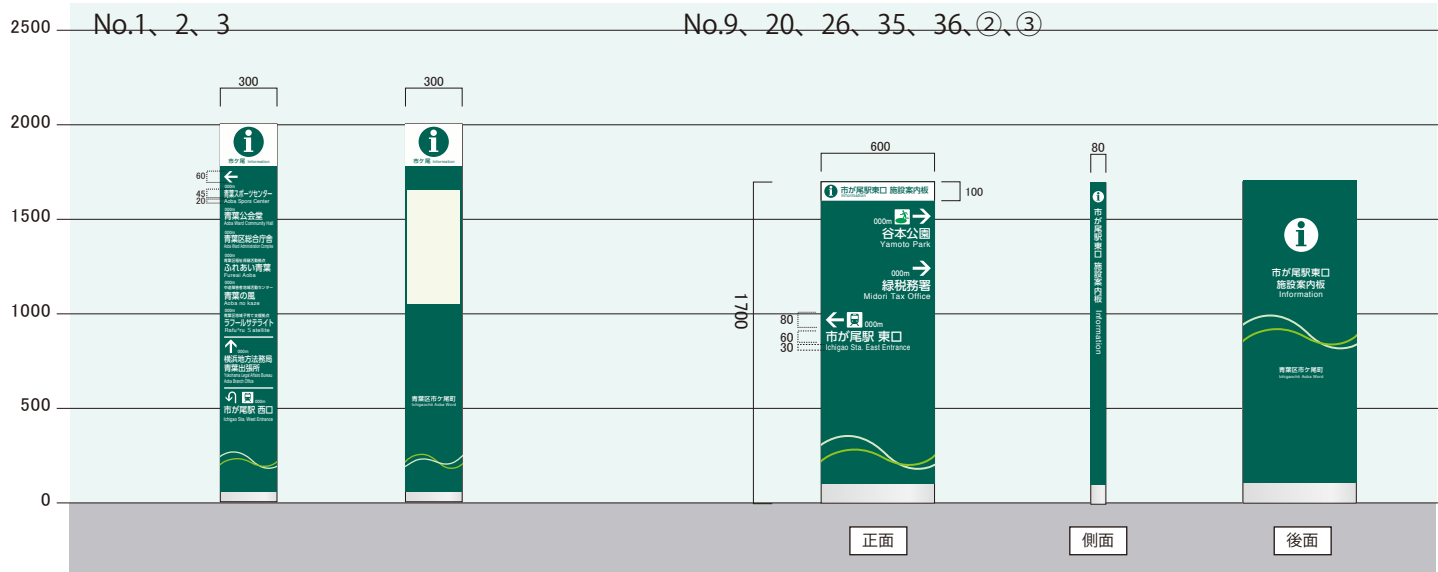


■ サインのモデルデザイン

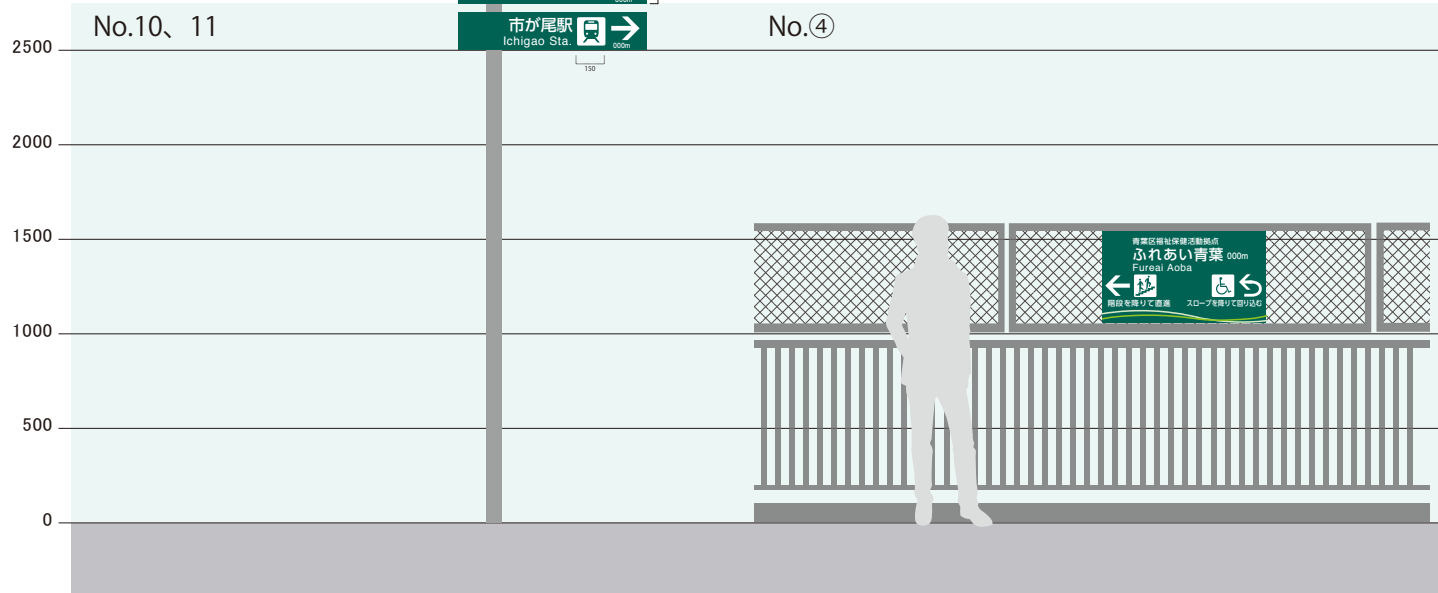
・周辺地図案内サイン



・誘導サイン（四角柱路側型）



・誘導サイン（矢羽根型）



平成 30 年 1 月発行

青葉区役所 総務部 区政推進課 企画調整係
〒225-0024 青葉区市ケ尾 3 1 番地 4 TEL:045-978-2217 FAX:045-978-2410

市が尾駅周辺地区 案内サイン再整備計画

概要版

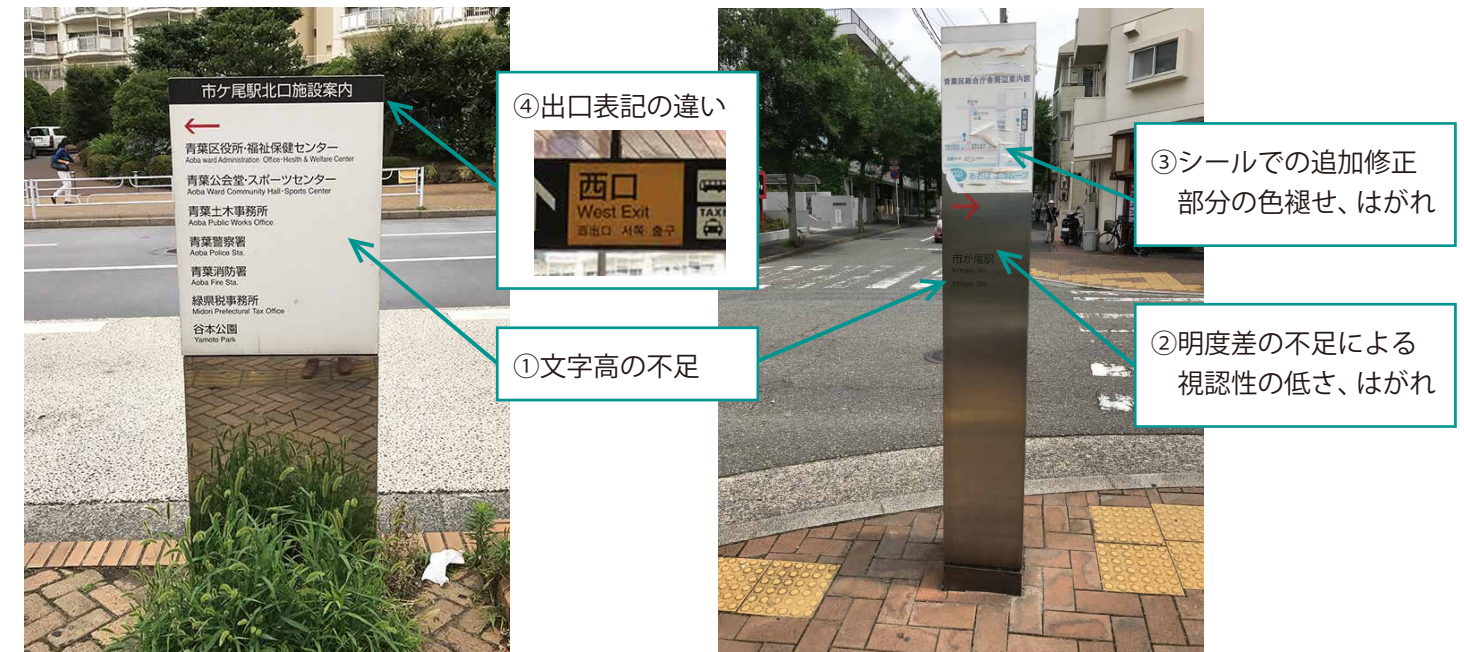
■ 再整備計画の目的

市が尾駅周辺地区は、青葉区総合庁舎や緑税務署、緑県税事務所、青葉区福祉保健活動拠点など、青葉区の行政・福祉施設などが集積しており、平成 28 年 3 月に市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想が策定された。これに基づき、各事業者は特定事業計画を策定し、原則平成 32 年度までを目標に事業を実施することとしている。

地区内における案内サインは、文字高の不足や文字のはがれ、サインの破損等の問題を抱えている。そこで、市が尾駅周辺の案内サインを整備し、利用者をより円滑に対象施設へ誘導できるよう、案内サイン整備の基本方針、案内ルート、板面デザイン等を定めた再整備計画を作成する。

■ サインの現状とその課題

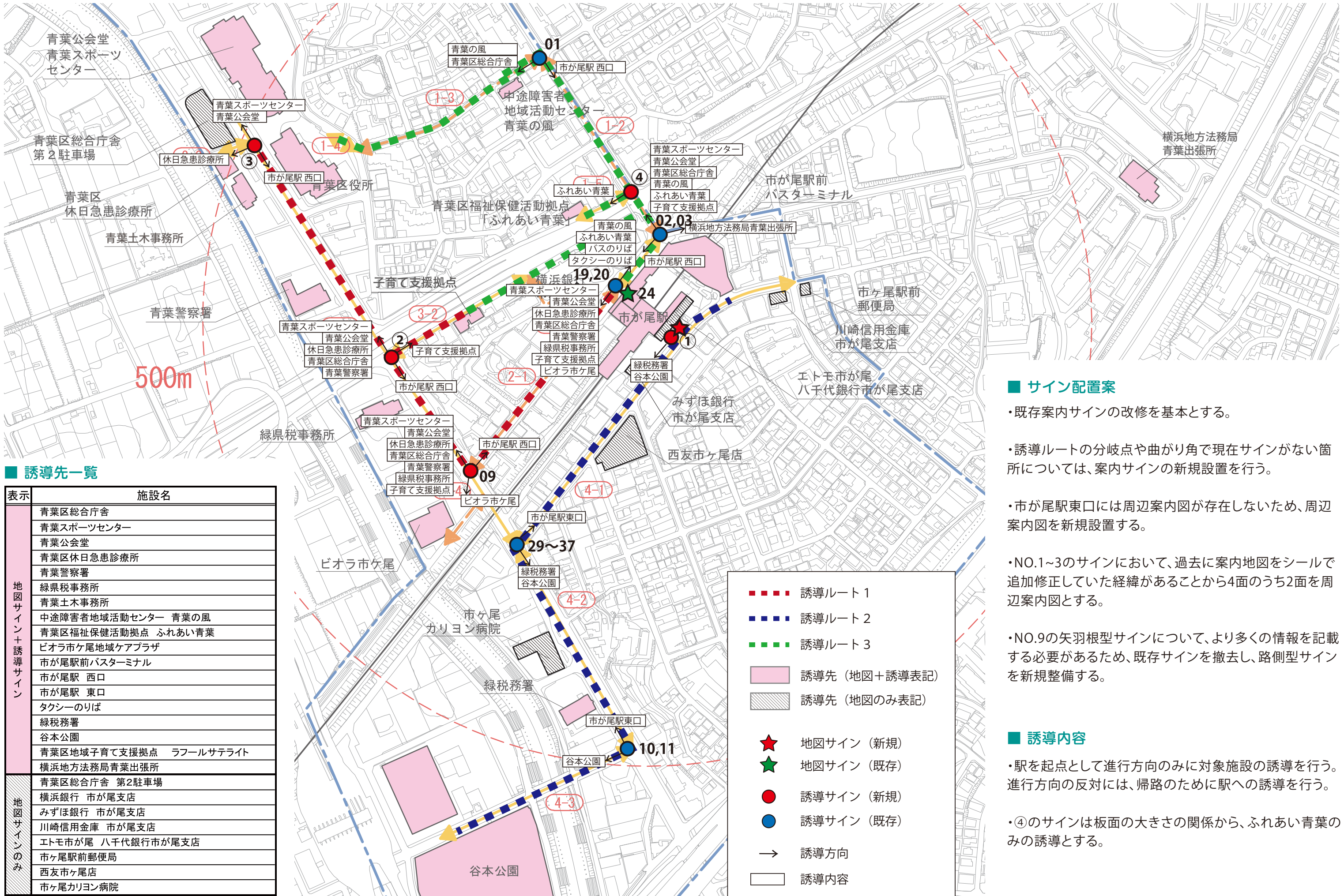
- ①「横浜市公共サインガイドライン」への不適合
一部サインの文字高の不足、現在地の住所記載の有無、案内施設までの距離表示の有無など
- ② 視認性の低さ
文字と下地の明度差の不足、表示する情報量の多さなど
- ③ サインの劣化
破損や文字のはがれ、シールで追加修正を行った部分の色褪せなど
- ④ 情報の連続性・統一性の欠如
同じ施設の表記名の違い、誘導先施設の違い、東口駅前のマップ表示の有無、駅出口表記の違いなど



■ 基本方針

- ・案内標示は、誰にでもわかりやすく見やすいものになるよう、市が尾駅周辺バリアフリー基本構想に対応したユニバーサルデザインに則ったデザインとする。
- ・重点整備地区全体での連続性、統一性に配慮し整備する。
- ・サインデザインはできるだけシンプルにまた今後のメンテナンスをしやすい仕様とし、かつ市が尾駅周辺の地域性・景観に配慮したデザインとする。

■ 対象施設と案内サインの整備（案） ※重要度の高い分岐点のサインのみ表示



■ 誘導先一覧

表示	施設名
地図サイン+誘導サイン	青葉区総合庁舎
	青葉スポーツセンター
	青葉公会堂
	青葉区休日急患診療所
	青葉警察署
	緑県税事務所
	青葉土木事務所
	中途障害者地域活動センター 青葉の風
	青葉区福祉保健活動拠点 ふれあい青葉
	ピオラ市ヶ尾地域ケアプラザ
	市が尾駅前バスターミナル
	市が尾駅 西口
	市が尾駅 東口
	タクシーのりば
緑税務署	
谷本公園	
青葉区地域子育て支援拠点 ラファールサテライト	
横浜地方方法務局青葉出張所	
青葉区総合庁舎 第2駐車場	
横浜銀行 市が尾支店	
みずほ銀行 市が尾支店	
川崎信用金庫 市が尾支店	
エトモ市が尾 八千代銀行市が尾支店	
市ヶ尾駅前郵便局	
西友市ヶ尾店	
市ヶ尾カリヨン病院	

■ サイン配置案

- ・既存案内サインの改修を基本とする。
- ・誘導ルートの分岐点や曲がり角で現在サインがない箇所については、案内サインの新規設置を行う。
- ・市が尾駅東口には周辺案内図が存在しないため、周辺案内図を新規設置する。
- ・NO.1~3のサインにおいて、過去に案内地図をシールで追加修正していた経緯があることから4面のうち2面を周辺案内図とする。
- ・NO.9の矢羽根型サインについて、より多くの情報を記載する必要があるため、既存サインを撤去し、路側型サインを新規整備する。

■ 誘導内容

- ・駅を起点として進行方向のみに対象施設の誘導を行う。進行方向の反対には、帰路のために駅への誘導を行う。
- ・④のサインは板面の大きさの関係から、ふれあい青葉のみの誘導とする。